

●パブリックコメント集計結果一覧表(案)

対象事案の名称:小美玉市地域公共交通計画(案)

1. 意見提出者数 4 人

提出方法	人数
郵送	0
ファクシミリ	0
電子申請	3
直接持参	1
合計	4

2. 提出された意見の内容及び市の考え方

NO	意見の対象箇所	意見の内容	意見数	市の考え方(回答)
1	【本編】69ページの高齢者免許返納促進 8計画の目標・実施事業基本方針3 持続的に運営できる公共交通の仕組みづくりに関連する施策・事業 施策3-1 公共交通の利用促進 事業3-1-2 高齢者の免許返納と公共交通の利用促進	高齢化社会の今、労働する年齢も延長しており、高齢即ち交通弱者とは言い難く、免許返納が更なる弱体化というものではない。 本計画の市が提供する公共交通機関も重要で拡充に期待するところであるものの、自動車などの機械力に頼らない自転車利用者の更なる増加があつて然るべきではないかとも考える。普段から小美玉市内では、公共交通機関の充実している首都圏よりも徒歩、自転車利用者が少ないように感じる。 農家など利用が必須な状況もあるかと思うが極至短距離でも乗用車を利用する習慣が根付いてしまうことにより免許返納が大きなハードルになっていることもあるものと推測する。そのため、若いうちから自転車に乗る、又は乗りやすい環境を醸成することも将来の公共交通機関の効率化にもつながるものと考えます。	1	免許返納については、ご意見のとおり、定年年齢が引き上げられており、運転能力の低下は単純に年齢だけで判断できるものではありません。しかし高齢者の交通事故が増加している中で、年齢による運転能力の低下を感じている方や身体的理由をお持ちの方を対象に免許返納の促進と公共交通の利用促進を推進していきたいと考えています。 また、自転車利用については、既存駐輪場の活用や自転車利用の周知、自転車と電車、バス等の公共交通機関との組み合わせを行い、環境に配慮した持続可能な公共交通の利用を促進する取組み(モビリティ・マネジメント)をすすめていきます。
2	【概要版】11ページの実施事業一覧 7計画の目標・実施事業	きめ細かい計画に関心しました。 しかし、公共交通機関の無い地域での通学(学生)・通院や買い物(免許返納者、老人など)の支援充実化が課題かと思えます。	1	この課題については、現在実施中の外出支援サービス(タクシー券)のほか、定額負担による公平な移動サービスの提供として、定額タクシーの導入をすすめています。 また、公共交通が身近にない地域では、タクシーの活用のほか、自転車と公共交通を組み合わせるなど、環境に配慮した持続可能な公共交通の利用を促進する取組み(モビリティ・マネジメント)をすすめていきます。
3	【本編】38ページ 公共交通利用者ニーズ調査 5 公共交通に関する実態調査 (2)公共交通利用者ニーズ調査	始発時刻を早める、最終便の時刻をおそくする、全年代の運賃を改定してほしい(物価が上がっている) 私は、おみたん号を週最高6日利用しているバス推しです。	1	本計画を策定するために行った調査の中で「運行本数・運行時間帯」に関するサービス満足度は、約4割の回答者が運行本数や運行時間帯に満足していないことがわかりました。 今後も引き続き、既存の公共交通基盤の維持と利便性の向上を目指して、おみたん号のダイヤや運賃などの検討をすすめていきます。

4	<p>【本編】69ページの高齢者免許返納促進</p> <p>8 計画の目標・実施事業基本方針3 持続的に運営できる公共交通の仕組みづくりに関連する施策・事業 施策3-1 公共交通の利用促進 事業3-1-2 高齢者の免許返納と公共交通の利用促進</p>	<p>自動運転の活用について一切触れられていなく非常に残念です。なぜ地方交通のブレイクスルーともなるべき実用化されつつある技術の活用を全く考慮しないのでしょうか？人手不足、本数、時間帯、ルートなど課題の多くに対応できると考えます。もちろん完全自動化にはまだまだ課題はあると思います。コストの問題も大きいでしょう。ただ毎年5千万円の事業補助が必要となっていて、恐らくその大半は人件費であることを考えると、数年で投資回収できる可能性があるかと期待します。県内の自治体でもトライアルが進んでいるニュースを見聞きします。夢がある話です。ぜひご検討ください。</p>	1	<p>現在、おみたん号は、収支改善を目指すため、利用者の増加を優先的に検討する必要があります。</p> <p>自動運転バスの導入は、運転手不足等の近年の公共交通の課題解決には有効な対策で、経費の削減にもなりうるものと認識していますが、同時に更なる財政負担が生じ公共交通の維持・確保が懸念される大きな問題も生じる可能性があると考えています。本計画における事業は、計画期間内に実行できる取組みを記載しています。今後、自治体の動向を見ながら、小美玉市にとって最適なモデルの検討をすすめていきます。</p>
		合計	4	